

2025年度 大学院入学試験 問題用紙

秋 季	心理学専攻 博士前期課程 臨床心理学コース	方 式	科 目
		A 一 般	英 語

受験番号 _____

氏 名 _____

(2 - 1) .

《解答別紙》

《英和辞書使用可》 《電子辞書不可》

I 次の英文を読んで、以下の問いに答えなさい。解答は解答用紙の所定の欄に記入しなさい。

著作権の関係で掲載できません。

出典 : Shirk, S. R., Karver, M. S., & Brown, R. (2011). The alliance in child and adolescent psychotherapy. *Psychotherapy*, 48, 17-24. <https://doi.org/10.1037/a0022181> より抜粋、一部改変

問1 本論文の目的は何か、日本語で書きなさい。

問2 Anna Freud が述べた、子どもとセラピストの「affectionate attachment」(下線①)の役割とは何か。本文から読み取って、日本語で説明しなさい。

問3 Rogers が提唱する治療関係の「active ingredients」(下線②)とは何か。本文から読み取って、日本語で説明しなさい。

2025年度 大学院入学試験 問題用紙

秋 季	心理学専攻 博士前期課程 臨床心理学コース	方 式	科 目
		A 一 般	英 語

受験番号 _____

氏 名 _____

(2 - 2)

《解答別紙》

《英和辞書使用可》 《電子辞書不可》

II 次の英文を読んで、以下の問いに答えなさい。解答は解答用紙の所定の欄に記入しなさい。

著作権の関係で掲載できません。

出典 : Kaess, M., Thomson, M., Lerch, S. et al. (2024) Age dependent effects of early intervention in borderline personality disorder in adolescents. *Psychological Medicine*, 1-9. <https://doi.org/10.1017/S0033291724000126> より
抜粋、一部改変

- 問 1 下線①の a range of adverse outcomes とはどのようなものか、本文から読み取って日本語で説明しなさい。
問 2 下線②の The natural course of symptoms はこの論文ではどのように記述されているか、日本語で説明しなさい。
問 3 下線部③を日本語に訳しなさい。

2025年度 大学院入学試験 問題用紙

秋 季	心理学専攻 博士前期課程 臨床心理学コース	方 式	科 目
		A 一 般	専 門

受験番号 _____

氏 名 _____

(3 - 1)

《解答別紙》

問I 以下の文章を読み、1)と2)の設問に解答しなさい。なお、以下の内容は全て本問題用に作成した架空の内容である。

Aさんは、災害の被害にあったり災害の報道を見聞きしたりすることによる心的外傷症状とその後の回復過程について、大学生を対象に調査を行った。調査項目は以下の通りである。

- ① 過去半年間の被災体験の有無：自分が災害の被害にあったことがあるか、または災害の報道を見聞きしたことがあるかについて、それぞれ「有る・無し」の2件法で測定。
 - ② 被災時または災害の報道を見聞きした時の心的外傷症状：改訂出来事インパクト尺度日本語版（IES-R、Asukai et al., 2002）。
 - ③ レジリエンス：二次元レジリエンス要因尺度（平野，2010）。
 - ④ 現在の適応状態：心理的ストレス反応尺度（鈴木他，1997）。
- ※ ①の項目において、いずれかまたは双方に「有る」と回答した人に、②～④の尺度への回答を求めた。

調査の結果 300 名から回答が得られ、①～④の全てに回答した 200 名（男性 82 名、女性 118 名、平均年齢 21.8±2.1 歳）のデータを分析に使用した。分析の結果は以下の通りだった。

表 1. 相関分析

	1.	2.	3.
1. IES-R	—		
2. 資質的レジリエンス	-.10	—	
3. 獲得的レジリエンス	-.11	.18 *	—
4. ストレス反応	.20 **	-.48 **	-.10

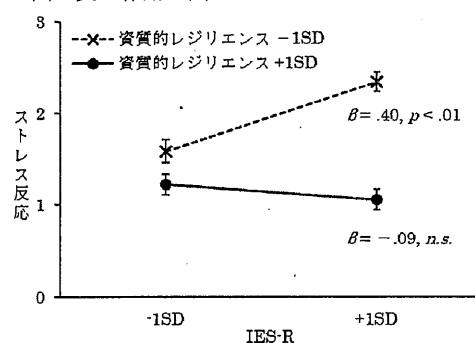
** $p < .01$, * $p < .05$.

表 2. ストレス反応を目的変数とした階層的重回帰分析

	Step 1	Step 2
IES-R	.15 *	.16 *
資質的レジリエンス	-.47 **	-.44 **
獲得的レジリエンス	.00	.05
IES-R×資質的レジリエンス		-.24 **
IES-R×獲得的レジリエンス		.02
ΔR^2	.25 **	.06 **
R^2	.25 **	.31 **

** $p < .01$, * $p < .05$.

図. 交互作用の図



注) エラーバーは標準誤差を表す。

引用文献

- Asukai, N., Kato, H., Kawamura, N., Kim, Y., Yamamoto, K., Kishimoto, J., Miyake, Y., & Nishizono, A. (2002). Reliability and validity of the Japanese-language version of the impact of Event Scale-Revised (IES-R-J): Four studies of different traumatic events. *Journal of Nervous and Mental Disease*, 190 (3), 175-182.
- 平野真理 (2010). レジリエンスの資質的要因・獲得的要因の分類の試み——二次元レジリエンス要因尺度(BRS)の作成—— パーソナリティ研究, 19 (2), 94-106.
- 鈴木伸一・嶋田洋徳・三浦正江・片柳弘司・右馬埜力也・坂野雄二 (1997). 新しい心理的ストレス反応尺度 (SRS-18)の開発と信頼性・妥当性の検討 行動医学研究, 4 (1), 22-29.

2025年度 大学院入学試験 問題用紙

秋 季	心理学専攻 博士前期課程 臨床心理学コース	方 式	科 目
		A 一 般	専 門

受験番号 _____

氏 名 _____

(3 - 2)

《解答別紙》

- 1) 調査の実施において研究対象者への説明文書に記載すべき事柄について、倫理的配慮を中心に3点を挙げて簡潔に説明しなさい。
- 2) 表1と表2および図から読み取れることを、総合的に解釈して説明しなさい。

2025年度 大学院入学試験 問題用紙

秋 季	心理学専攻 博士前期課程 臨床心理学コース	方 式	科 目
		A 一 般	専 門

受験番号 _____

氏 名 _____

(3 - 3)

《解答別紙》

問 II 次のそれぞれの用語について簡潔に説明しなさい。

- 1) 機能分析
- 2) 動機づけ面接
- 3) 嗜癖行動症群
- 4) サイコロジカル・ファーストエイド
- 5) チーム学校
- 6) サクセスフル・エイジング
- 7) 保護観察所
- 8) 労働者の心の健康づくり計画における「4つのケア」

2025年度 大学院入学試験 問題用紙

秋 季	心理学専攻 博士前期課程 臨床心理学コース	方 式	科 目
		A 一 般	小 論 文

受験番号 _____

氏 名 _____

(1 - 1)

《解答別紙》

問. 心理臨床の仕事は、人の心の悩みや問題、人間関係の葛藤などに関わるものであるとともに、人の「生」や「死」に関わる仕事でもある。「生」と「死」について、あなたの考えを 1,000 字以内で述べなさい。

2025年度 大学院入学試験 問題用紙

春 季	心理学専攻 博士前期課程 臨床心理学コース	方 式	科 目
		A 一 般	英 語

受験番号 _____

氏 名 _____

(2 - 1)

《解答別紙》

《英和辞書使用可》 《電子辞書不可》

I 次の英文を読んで、以下の問いに答えなさい。解答は解答用紙の所定の欄に記入しなさい。

著作権の関係で掲載できません。

出典: Edwards, A.C., Ohlsson H., Salvatore, J.E. et al. (2024) Divorce and risk of suicide attempt: a Swedish national study. *Psychological Medicine*, 54(8),1620-1628, <https://doi.org/10.1017/S0033291723003513> より一部抜粋、一部改変。

問 1 下線①を日本語に訳しなさい。

問 2 下線②に示される **clinically relevant questions** とはどのようなものか、日本語で簡潔に説明しなさい。

問 3 下線③を日本語に訳しなさい。

2025年度 大学院入学試験 問題用紙

春 季	心理学専攻 博士前期課程 臨床心理学コース	方 式	科 目
		A 一 般	英 語

受験番号 _____

氏 名 _____

(2-2)

《解答別紙》

《英和辞書使用可》 《電子辞書不可》

II 次の英文を読んで、以下の問いに答えなさい。解答は解答用紙の所定の欄に記入しなさい。

著作権の関係で掲載できません。

出典 : Daley, D., & Birchwood, J. (2010). ADHD and academic performance: Why does ADHD impact on academic performance and what can be done to support ADHD children in the classroom? *Child: Care, Health and Development*, 36(4), 455–464. <https://doi.org/10.1111/j.1365-2214.2009.01046.x> より一部抜粋、一部改変。

問1 ADHD と学業成績の関連性について、レビューで示された主な結論について、日本語で説明しなさい。

問2 ADHD の Academic intervention において、重点を置くべき点は何か、論文から読みとって日本語で説明しなさい。

2025年度 大学院入学試験 問題用紙

春 季	心理学専攻 博士前期課程 臨床心理学コース	方 式	科 目
		A 一 般	専 門

受験番号 _____

氏 名 _____

(3 - 1)

《解答別紙》

問Ⅰ 以下は、心理教育の効果を検証した研究の抜粋である。以下を読み、次ページの設問に回答しなさい。解答はすべて解答用紙の所定の解答欄に記入しなさい。なお、以下の内容は全て本問題用に作成した架空の内容である。

がんサバイバーに対する心理教育プログラムの効果

問題と目的

がん患者の増加や生存率の向上によって、がんと診断された後、長期にわたり生存している患者（がんサバイバー）が増加している。診断後5年以上経過したがんサバイバーの約2割に抑うつ症状があるとされているが、有効な心理支援については明らかにされていない。

本研究では、診断後5年以上経過したがんサバイバーを対象に、心理教育プログラムによる介入を行い、抑うつ症状を測定することで、その効果を検証することを目的とする。

方法

対象者 : X病院に外来通院中の患者のうち、がん診断後5年以上経過している60名を対象とした。

手続き : X病院において診察後に文書による研究説明後に研究協力を依頼し、書面による同意を得た。同意が得られた対象者をエントリー順に心理教育介入群（以下、介入群）と心理教育未介入群（以下、未介入群）に分けた。介入群には計6回の心理教育が行われた。心理教育は、臨床心理学を専攻する大学院生が担当した。未介入群には通常診療が提供された。質問紙調査は、介入前、介入後、介入後6週、介入後12週に行われた。未介入群の質問紙調査は、介入群の回答時期と概ね一致するように行われた。なお、本研究は所属長の許可を得て行われた。

調査内容 : ① デモグラフィック変数：性別、年齢、疾患

② 抑うつ：The Center for Epidemiologic Studies Depression Scale (CES-D)（島他, 1985）を用いた。得点が高いほど抑うつが高いことを表す（ $\alpha = .84$ ）。

解析方法：心理教育の介入の有無（介入群・未介入群）と質問紙調査時期（介入前・介入後・介入後6週・介入後12週）を独立変数、CES-D得点を従属変数とする2要因混合分散分析を行った。

結果

対象者の背景をTable 1に示した。介入群と未介入群におけるCES-D得点の推移をFigure 1に示した。

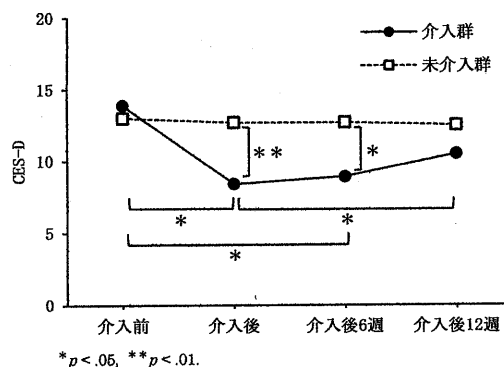
Table 1

対象者の背景

		介入群 (n=30)	未介入群 (n=30)
年齢, 平均 (SD)		62.4 (12.2)	63.2 (13.4)
性別	男性 (%)	6 (20.0)	24 (80.0)
	女性 (%)	24 (80.0)	6 (20.0)
疾患	肺がん (%)	3 (10.0)	15 (50.0)
	乳がん (%)	15 (50.0)	3 (10.0)
	大腸がん (%)	6 (20.0)	9 (30.0)
	胃がん (%)	6 (20.0)	3 (10.0)

Figure 1

介入群と未介入群におけるCES-D得点の推移



考察

以上の結果から、心理教育プログラムはうつ病のがんサバイバーにおける抑うつの改善に効果があり、その効果は介入終了後も持続することが明らかになった。

引用文献

島 悟・鹿野 達男・北村 俊則・浅井 昌弘 (1985). 新しい抑うつ性自己評価尺度について 精神医学, 27, 717-723.

2025年度 大学院入学試験 問題用紙

春 季	心理学専攻 博士前期課程 臨床心理学コース	方 式	科 目
		A 一 般	専 門

受験番号 _____

氏 名 _____

(3 - 2)

《解答別紙》

- 1) 本研究の問題と目的を検討するために、方法に記載されている内容は適切であるか。適切でない場合には、問題点を指摘したうえで、どのように修正すべきかを書きなさい。適切である場合には解答用紙に「適切である」と記入しなさい。
- 2) Table 1 と Figure 1 から読み取れることを書きなさい。
- 3) 考察に記載されている内容は適切であるか。適切でない場合には、問題点を指摘したうえで、どのように修正すべきかを書きなさい。適切である場合には解答用紙に「適切である」と記入しなさい。

2025年度 大学院入学試験 問題用紙

春 季	心理学専攻 博士前期課程 臨床心理学コース	方 式	科 目
		A 一 般	専 門

受験番号 _____

氏 名 _____

(3 - 3)

《解答別紙》

問 II 次のそれぞれの用語について簡潔に説明しなさい。

- 1) 学校危機支援
- 2) 退行
- 3) 散布度
- 4) P-F スタディ
- 5) 触法少年
- 6) 急性ストレス症
- 7) アドボカシー
- 8) 分化強化

2025年度 大学院入学試験 問題用紙

春 季	心理学専攻 博士前期課程 臨床心理学コース	方 式	科 目
		A 一 般	小 論 文

受験番号 _____

氏 名 _____

(1 - 1)

《解答別紙》

問. 日々の生活のなかで起こるさまざまな出来事やそれに伴うあなたの体験は、カウンセリングをはじめとする心理臨床の実践にどのように役立つと考えられるか。一方、それらが心理臨床の実践の妨げになるとしたら、それはどのようなことか。あなたの考えを 1,000 字以内で記しなさい。